

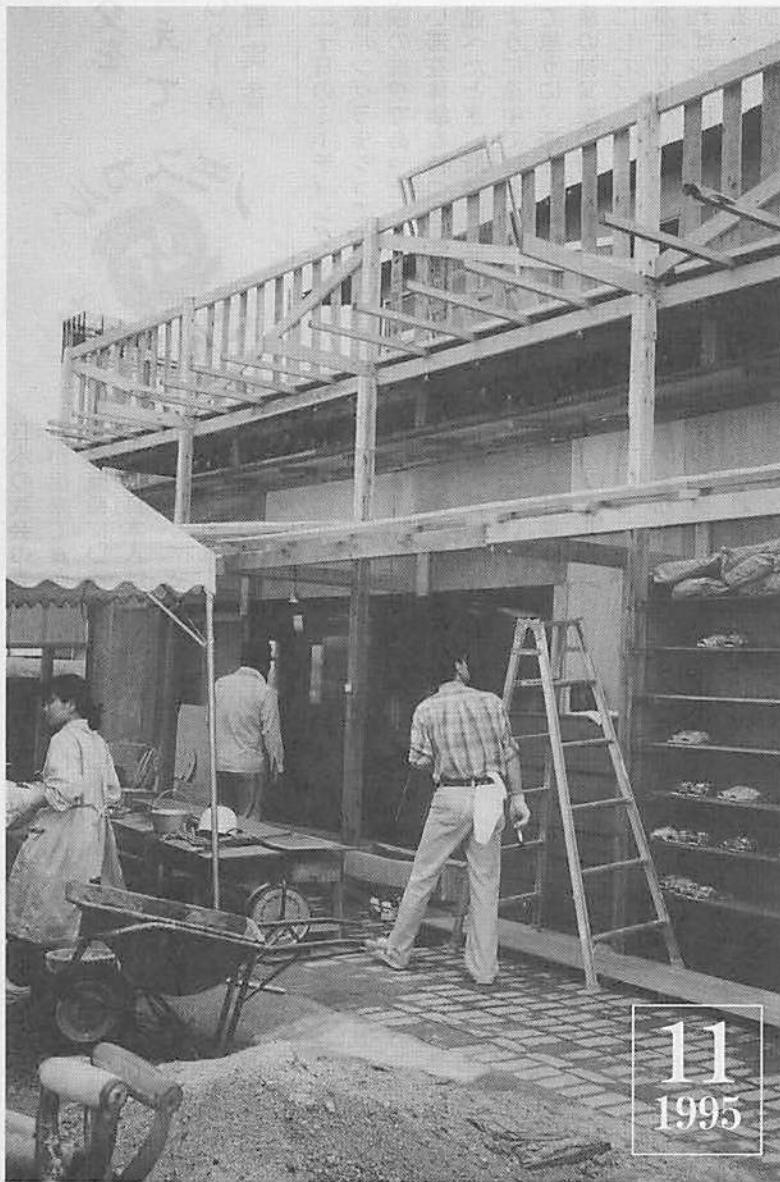
京都教区時報

第216号

田中司教認可
毎月1日発行

発行 京都教区 梶上透磨
 編集 京都教区時報編集室 住所 京都市中京区河原町三条上る河原町カトリック会館5F
 カトリック京都教区ザビエルネット／アクセスNo.075-467-1676 ゲストID:GUEST
 通信速度:1200~28800bps 通信条件:N,8,1,X,N 接続環境:単回線24時間

キリストに賛美!



●鷹取教会ボランティア宿舎「ラッパハウス」

11
1995

の学校・幼稚園・施設・修道院の二次
 災害防止に使わせていただいてきました。
 阪神大震災からはや七ヵ月が過ぎ、
 被災しなかつた人々から次第に忘れ去
 られようとしている中で、いまだ苦し
 みの中にある方々のことを思い続けて
 下さるお心に、本当に頭が下がります。
 たくさんの皆様からいただいたご芳
 志は、緊急救援物資の購入と配布、被
 災地無料診療活動の支援、カトリック
 大阪大司教区司教 安田久雄
 一九九五年九月十三日

まずは、とりあえずお礼のことばに
 かえさせていただきます。

名 義
 普通預金232320
 口座番号
 関西銀行京都支店
 宗教法人カトリック京都教区
 代表役員 田中健一

の学校・幼稚園・施設・修道院の二次
 災害防止に使わせていただいてきました。
 大阪教区の新生計画はまだま
 だ始まつたばかりです。今後も
 復旧を目指す中で日を追うごとに
 各々な問題が出てきますが、これから
 も活きた救援を続けていきたいと考え
 ています。

▼大阪教区の新生計画はまだま
 だ始まつたばかりです。今後も
 各々な問題が出てきますが、これから
 みなさんの義援金をお願い
 します。



ゴメス神父を 迎えて

KYOSIA
水野実香



去る七月三十一日から八月二

二十日のミーティングで聴いた。

十三日までの約三週間、KYO
SIA(京都教区アジア交流委
員会)の交流先である、バング
ラデシュ・チッタゴン教区か
ら、ラザルス・ゴメス神父様を
日本にお呼びし、京都司教区の
各地を訪問していただいた。神
父様が日本に滞在された感想を
皆さんに紹介したいと思います。

《日本についての印象》

た わかったとは言えない。日本

に四十年間程住んでおられる丹後の
神父様とお話しした。彼なら実

日本人は忙しい。いつも動いて
いる。バングラデシュ人も忙
しい。それは生活のためだ。毎日
の糧を得るためにいつも動いてい
る。彼らの忙しさは生命に密着し
わったからと言って何も心配はな
い。KYOSIAとの関係はチッ
タゴン教区全体が受け入れている。
そうである以上、どの神父が担

日本教会の姿を少しだが見ること
が出来て良かった。神父様達は
一生懸命にいろいろ活動なさって
いる。日本人は忙しいそうである
が、忙しいことが悪いとは言って
いない。日本人は何に向かって動
いているのか。日本人皆がその動
きを人々に向ければとても素晴らしい
国になると思う。

日本人は忙しいという指摘
どこでもよくされていること
ある。たいていは皆自分のため
に忙しい。日本人も自分たちの
忙しさは生活のためと考えてい
るだろう。しかし、生活を楽し
むためという感じはあまりしな
い。最近こそよく海外旅行に誰
もが出かけるが、それでも本當
に日々の生活を有意義に精神的
余裕を持って過ごせている人は
少ないようだ。本当に日本人
は何のために忙しくしている
のだろうか。神父様の指摘され
るとおりだ。「人々に向かって
のためを思ってくださっているこ
とに感謝。バンダルバンのための
援助を考えてくれていること
に感謝。トーマスのプロジェクト
支援に感謝。たとえ担当司祭が変
わったからと言って何も心配はな
いだけでもすいぶん違うようだ
う気がする。ラザルス神父様はた
いへん靈的な方だと思った。

印象しか述べられない。バングラ
デシュへKYOSIAから派遣され
て行った青年達のわかつあいを

日本人は忙しい。いつも動いて
いる。バングラデシュ人も忙
しい。それは生活のためだ。毎日
の糧を得るためにいつも動いてい
る。彼らの忙しさは生命に密着し
わったからと言って何も心配はな
い。KYOSIAとの関係はチッ
タゴン教区全体が受け入れている。
そうである以上、どの神父が担

詩文集

に寄せて

とができない。両目失明。肺活量は三百cc（普通約二千cc）しかないので、気管切開をして呼吸している。そのため発声が困難で話しがち。意欲フル回転続行中。（第二集「花かんむり」略歴より）

この詩文集は多くの人々の手によつて生れた。字が書けない彼女には聞き取りりと代筆をする人々がいる。お母様をはじめ美しい力ツトを書く人々がいる。レイアウトしたり、コピーしたり、葉を作つたり……。最後のページに、「手

かなしんでいないからです。
こまつたことがあれば七星たちが
てつだつてあげればすむことだか
らです。
ママはいいました。

病気の母の祈り

力をなくした 二本の足と
支えを失つた 弱い背中
母として生きる 我に再び
涙で汚れた 顔をふり仰ぎ
ただひたすら わが主を求める

力をなくした 二本の腕と
光を失った 二つの瞳
妻として生きる 我に再び
涙で汚れた 顔をぶり仰ぎ
ただひたすら わが主を求

アーメン

この祈りは、マリア阿南慈子さんの「花物語」という詩文集の最初の方に出てくる祈りの詩である。

間、結婚四年目にして難病多発性硬化症（MS）を発病。

ら下は四肢痺痺で全く動かすこと
が出来ず寝返りも出来ない。首か
ら下は痛みも熱さも全く感じるこ

か、慈しみとはほえみで、静かな
あたたかい香りを放つてゐる様に
思える。私はその香りをかぐため
に、そつと彼女の所を訪れる機会
をいただいている。

オーケストラというのは、少し大げさすぎる。むしろ花束。大げさに音をたてて動きまわるのでなく、実にあたたかく、やさしく、しみじみとしたハーモニーが聞こえてくるのだから。

この詩文集は多くの人々の手によつて生れた。字が書けない彼女には聞き取りと代筆をする人々がいる。お母様をはじめ美しいカットを書く人々がいる。レイアウトしたり、コピーしたり、葉を作つたり……。最後のページに、「手伝つて下さった方々」という、感謝をこめた名前のリストがある。又、彼女の詩の中に、いろいろ助けをいただいた神父様やシスター、や家族友人の事を歌つている詩もある。病気を奉獻している一人の回りに、愛の「わ」が広がつていいのだ。

この詩文集は、この試練？をうらんだり、憎んだりするより、むしろ感謝と讃美のいのりの様に思える。何故それが出来るのか。本人の心の持ち方が何よりも大きい。

や家族友人の事を歌っている詩もある。病気を奉獻している一人の回りに、愛の「わ」が広がっていくのだ。

この詩文集は、この試練？をうらんだり、憎んだりするより、むしろ感謝と讃美のいのりの様に思える。何故それが出来るのか。本人の心の持ち方が何よりも大きい。でもそれは彼女を包む、多くの人々のあたたかい心があるからだと思ふ。

かなしんでいないからです。こまったくことがあれば七星たちがてつだつてあげればすむことだからです。

ママはいました。

おりょりよりも、おそうじも、せんたくもしてあげられなくてごめんね。

でもそのぶん、時也と七星のためにたくさんいのつているからねと……。

七星はおいのりがなによりたいせつだと思います。

だからママはすばらしいと思います。

こんなに子どもたちのためにいのつてくれる人はめずらしい思います。このママの子どもにうまれさせてくれてありがとうございました。

七星ちゃんの祈り

*編集部注

多発性硬化症（MS）とは

ルテイ

ブ（多発性の）スクレローシス（硬くなる）といい、その頭文字をとつてMSと呼ばれています。

をとつてMSと呼ばれています。MSは中枢神経に脱髓斑と呼ばれる病変があちこちに多発する病気です。(「花物語」より)

教区中学生広島体験学習感想文

平和公園を歩いて――

林愛子（登美ヶ丘教会）

今回初めて広島体験学習に来て

広島の過去をいろいろ知った。

平和公園を歩いて、いろんなものを見た。その中で、一番心に残つたのは、韓国人原爆犠牲者慰靈碑

です。日本に無理矢理連れてこられた毎日働かされて、その上原爆にあつたなんて、すごくかわいそうだと思った。

韓国人だからということで原爆手帳をもらえないというのを聞いて、日本人も韓国人も同じ場所にいて、同じ様に原爆にあつたのに、日本人じゃないからだめなんてひどいと思った。慰靈碑だって、平和公園の中に建てられてないけど、人種が違うだけで差別するのは、信じられなかつた。

体験談を聞いた時も、たくさんの人差別があつて、苦しい思いをたくさんしてきたということを知つた。今も、まだまだたくさんの韓国人の人が苦しい思いをしていると思う。このことを知つた戦争を知らない韓国人の子は悲しく思うと思う。

私は、韓国人原爆犠牲者慰靈碑です。日本に無理矢理連れてこられた毎日働かされて、その上原爆にあつたなんて、すごくかわいそうだと思った。

韓国人だからということで原爆手帳をもらえないというのを聞いて、日本人も韓国人も同じ場所にいて、同じ様に原爆にあつたのに、日本人じゃないからだめなんてひどいと思った。慰靈碑だって、平和公園の中に建てられてないけど、人種が違うだけで差別するのは、信じられなかつた。

語りつなげれば――

鈴木陽子（希望の家）

この四日間は、私が本当の平和とはなにかということを真剣に考えた日だった。広島に来た人は皆、真の平和を願つてゐる人ばかり。

平和行進、平和祈願ミサと平和の行事に私は初めて参加し、そこではじめてみんな本当に世界人類の平和を願つてゐるんだなと思いました。今、この地のどこかで戦争というものが絶え間なく続いています。そこの人たちは、一日でも早

く平和が来てほしいと願つている。私は、戦争を味わつたことがない。ということは、平和なんだ。戦争を知らないことも、平和につながるけど、過去のことを知り、またあらためて平和がどんなに大事か知りました。あの広島と長崎に二度も落とされた原子爆弾。今もなお、仮の核実験がおこなわれてゐる。みんなテレビで言つてゐる。「核実験は正しくない」と。そんなみんなの願いが、これまでにかといふことを真剣に考へた日だった。広島に来た人は皆、真の平和を願つてゐる人ばかり。

私は、戦争を味わつたことがない。ということは、平和なんだ。戦争を知らないことも、平和につながるけど、過去のことを知り、またあらためて平和がどんなに大事か知りました。あの広島と長崎に二度も落とされた原子爆弾。今もなお、仮の核実験がおこなわれてゐる。みんなテレビで言つてゐる。「核実験は正しくない」と。そんなみんなの願いが、これまでにかといふことを真剣に考へた日だった。広島に来た人は皆、真の平和を願つてゐる人ばかり。

私は、戦争を味わつたことがない。ということは、平和なんだ。戦争を知らないことも、平和につながるけど、過去のことを知り、またあらためて平和がどんなに大事か知りました。あの広島と長崎に二度も落とされた原子爆弾。今もなお、仮の核実験がおこなわれてゐる。みんなテレビで言つてゐる。「核実験は正しくない」と。そんなみんなの願いが、これまでにかといふことを真剣に考へた日だった。広島に来た人は皆、真の平和を願つてゐる人ばかり。

私は、戦争を味わつたことがない。ということは、平和なんだ。戦争を知らないことも、平和につながるけど、過去のことを知り、またあらためて平和がどんなに大事か知りました。あの広島と長崎に二度も落とされた原子爆弾。今もなお、仮の核実験がおこなわれてゐる。みんなテレビで言つてゐる。「核実験は正しくない」と。そんなみんなの願いが、これまでにかといふことを真剣に考へた日だった。広島に来た人は皆、真の平和を願つてゐる人ばかり。



原爆手帳

新井由郁（草津教会）

私が学んだことの一つは原爆のこと。原爆は後に生まれて来る原爆二世、三世にも被害があり、稻葉までもが被害にあうことです。原爆が投下され、はや五十年。投下當時こんなになるとは、だれが予想したでしょうか。今、広島は原爆投下都市におもえないほど発展しているのです。私は知らないけれども、昔被害にあった人はさぞ驚くことでしょう。

まだ今苦しんでいる人がいます。被爆なさった朝鮮人・韓国人は原爆手帳を取得できない人がいます。取得できたとしてもすぐ期限がきれ、何回も取得しなければならないそうです。未だに原爆手帳を取得していない人々もおられます。そして道ばたのカンパンに「原爆手帳」という字が書いてあってびっくりしました。

ない。そして、いつか必ず眞の平和がやつてくるに違いありません。今ここにある小さな平和がおおきなつながりになるでしょう。一度と戦争がおこらない。核をいつさい使わない。みんな守れば必ず来る。本当の平和が。

司教に上申しています。

現在、京都教区では、西院・桂、伏見・桃山・八幡、大津・唐崎・安曇川で共同宣教司牧が行われており、共同宣教司牧について司祭は大体理解して来たが、信徒には徹底せず混乱がありました。今後、更に充分な説明と学習が必要です。

小教区の垣根は徐々に低くなつて来ているように思いますが、当面の問題として、近隣小教区の協力関係を一層深めあう事から始めたいと思います。特に京都北部では以前から緊密な連携が採られていました。また、大津地区では共同宣教司牧が向上したように思われます。

野教会で京都教区信徒連絡協議会が催されました。村上(眞)師、滝野師、小池師と、各地區から信徒二十七名が参加しました。

一日目に、村上(眞)師と滝野師より話がありました。

八月二十一日～二十三日の京都教区司祭修道士総会で、田中司教のメッセージに応えて、「共同宣教司牧」への取り組みのために、司祭達は各地区で定期的に集りを開いています。

又、「京都教区共同宣教司牧推進チーム」を設置するように田中

司祭減少、召命希望者が殆ど無く、信徒も増加しない状態から、

司祭減少、召命希望者が殆ど無く、信徒も増加しない状態から、

司祭減少、召命希望者が殆ど無く、信徒も増加しない状態から、

司祭減少、召命希望者が殆ど無く、信徒も増加しない状態から、

京都教区信徒連絡協議会からの報告



現在、京都教区では、西院・桂、伏見・桃山・八幡、大津・唐崎・安曇川で共同宣教司牧について司祭は大体理解して来たが、信徒には徹底せず混乱がありました。今後、更に充分な説明と学習が必要です。

小教区の垣根は徐々に低くなつて来ているように思いますが、当面の問題として、近隣小教区の協力関係を一層深めあう事から始めたいと思います。特に京都北部では以前から緊密な連携が採られていました。また、大津地区では共同宣教司牧が向上したように思われます。

その後、京都北部、滋賀、京都南部各地区より活動報告がありました。

一日目に、村上(眞)師と滝野師より話がありました。

二日目は、ミサの後、分かち合いました。

「二〇XX年の京都教区」に対して信徒として応えて行くには?まず知ることが第一。京都南部信徒協議会社長が主催で、四人の司祭を招いて勉強会を実施し、六十三名が参加しました。



京都教区信徒連絡協議会は既に教区時報一八八号以来掲載されている、田中司教やその他の方からの言葉を資料としたらどうでしようか。

京都教区、京都教区アンケート解説書よりよりよき宣教共同体となるために、ともに喜びをもつて生きよう、家庭と宣教など。

尚、昨年の京都南部での申し合わせに従い、来年は三重でお世話を終わる事無く、実際の活動に活かせたいものであります。従来から、

単なる勉強会に終わる事無く、実際の活動に活かせたいものであります。従来から、

尚、昨年の京都南部での申し合わせに従い、来年は三重でお世話を終わる事無く、実際の活動に活かせたいものであります。従来から、

尚、昨年の京都南部での申し合わせに従い、来年は三重でお世話を終わる事無く、実際の活動に活かせたいものであります。従来から、

(文責・赤野鍾一)

教区の将来は、どのようになるのかと危機感が高まって来た、その一つの対応策として、対処療法としてでは無く、本來的な在り方を重視した上で、共同宣教司牧が浮上して来ました。実施する上で大切な事は、全信徒が認識を深める為に学習会を持ち、自己刷新を計る事ではなかろうか。

信徒数の減少は、帰天者と入信者の数を見れば明らかです。入信希望者へのアピールは、信徒の生活そのものが鏡である事を考え、祈りと喜び及び愛の奉仕に努める事が大切です。

学習会は役員だけでなく信徒全體に広げて実施したい。まず、各地区の役員が学習し、次いで各小教区、又は近隣小教区合同で、ミサ後や信心会後などに少しずつでも学習出来ると思います。学習には既に教区時報一八八号以来掲載されている、田中司教やその他の方からの言葉を資料としたらどうでしようか。

二日間の分かち合いから次の合意がなされました。

各地区で「二〇〇〇年の京都教区」への認識を深める為に、一、勉強会を開くこと。

一、その為に指導者が必要なら、福音センターを通じてすること。

一、各地区での成果は福音センターに提出すること。

☆資料 共同司牧のすすめ、二〇〇〇年の京都教区、二〇XX年の京都教区、京都教区アンケート解説書よりよき宣教共同体となるために、ともに喜びをもつて生きよう、家庭と宣教など。

カトリックは受け身的な信徒が多いといわれて来たが、受け身から脱却して、自主的に考え、活動出来る信徒へと刷新していくたいのと/or>

最後に綾部教会から、一年間の教会閉鎖が解かれ、これまで当たり前と思っていたミサとご聖体の大好きな喜びを感謝しています。

キャンプ場の朝は早く、午前六時旗揚げの合図で一日が始まります。テントの中で朝の祈りや、洗面、朝食づくりなど、各班毎の動きはまちまちですが、今日のプログラム、CBSキャンプの中心的行事である野外ミサと各団混成による全体プログラム、そして營火の準備と実行に向けて、スカウト、指導者、スタッフ全員の活動開始です。

午前九時半、田中司教到着。キャンプサイトの中央に立てられたテントに祭壇が作られ、竹筒には野の花が挿入されています。それを囲むように全員が集合。バルデス神父、CBS山口会長も出席され

松本敏子

午前九時半、田中司教到着。キャンプサイトの中央に立てられたテントに祭壇が作られ、竹筒には野の花が挿入されています。それを囲むように全員が集合。バルデス

神父、CBS山口会長も出席され

午後からは、ハイキング、ゲーム、クラフトなどの全体プログラムと夜にはいって營火で友情を深め合いました。



自然のなかでのキャンプ

8月12日～15日、カトリックスカウト(CBS)京都支部の第3回合同野営大会(キャンポリー)がマキノスキー場で行われ、480名が参加しました。



外国语ミサ

● MASS IN ENGLISH (英語ミサ)

- *SHIN-AI KINDERGARTEN
～PAG-ASA COMMUNITY
every Sunday 3 p.m.
- *Franciscan house
every Wednesday 4 p.m.
- *NISHI-MAIZURU church
the first Sunday of the month 3 p.m.
- *KUSATSU church
the fourth Sunday of the month 2 p.m.
- *NARA church
the last Sunday of the month 2 p.m.
- *YAGI church
the third Sunday of the month 2 p.m.
- *TSU church
the fourth Sunday of the month 2 p.m.
- *MATSUZAKA church
the first Sunday of the month 3:30 p.m.
- *YOKKAICHI church
the second Sunday of the month 4 p.m.

● 한국어 미사 (韓国語ミサ)

- *京都コリアン・カトリックセンター
(第1(日)午前10時)

● MISSA EN PORTUGUES (ポルトガル語ミサ)

- *Igreja paroquial de KUSATSU
segundo domingo do mes tarde 15 horas

● MISA EN ESPAÑOL (スペイン語ミサ)

- *Iglesia de FUSHIMI
segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde
- *Iglesia de KUSATSU
tercero Domingo del mes a las 2:30 de la tarde
- *Iglesia de YAGI
primero Domingo del mes a las 2 de la tarde
- *Iglesia de NISHI-YAMATO
segundo Domingo del mes a las 3 de la tarde
- *Iglesia de TSU
segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde
- *Iglesia de SUZUKA
segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde

上記のミサ時間の訂正、追加などがありましたら、京都教区国際協力委員会までお知らせ下さい。

(西院・桂教会 森田直樹)

ソフトボール大会に 参加してみませんか

来る十二月三日(日)、京都教区青年ソフトボール大会を実施します。上手でも下手でも結構、思いつきり汗をかき運動したいあなた、日頃運動不足のあなた、何か知らないけど、とにかくワイワイ騒ぐのが好きなあなた、参加してみてはいかがでしょうか。寒いからいやだなと思っている人、心配は全くいりません。動いてハッスルしているうちに、すぐ暖かくなります。皆様方がス

ボーツを通して交流を深め、心身共にHOTになるために計画しました。たくさんのご参加をお待ちしております。

参加については、チーム・個人どちらでも構いません。申し込みは青年センターの方へご連絡下さい。

申込先
〒604 京都市中京区壬生
淵町26 西院カトリック会館内
京都カトリック青年センター
電・FAX 075(822)6246

(((((お))) あんてな



西院カトリック会館行事

▽柳本神父の雑学講座「仏教2」
1日10時半~

▽河原町カトリック会館行事
10時半~

▽希望の家バザー 10日
10時半~

▽信陸二金会 10日
10時半~

▽バザー 12日
10時半~

▽カナの会出会いの集い 5日
13時~ 会費・二千円

▽一万匹の蟻 15日
19時~

▽レジオ・マリエ京都コミニチウム 19日
13時半~

▽Srドローレスの聖書講座 24日
10時半~

▽京都カトリック混声合唱団 25日
19時~

▽キリストン研究会 26日
15時~

▽京都マック運営委員会 27日
10時~ 河原町会館

▽京都南部平和への歩み実行委員会 30日
19時半~

京都南部地区の行事

▽手話教室 第1・3・4金曜日
10時半~12時 西院教会

▽一般追悼ミサ 2日
18時半~ 河原町教会

▽京都ウォーカソン 3日
9時半~ 河原町教会

▽平和への歩み国際フェスタ 3日
信愛幼稚園

▽バザー 3日 聖マリア養護学校
南信協婦人部追悼ミサ 7日
河原町教会

▽希望の家バザー 10日
西陣教会

▽バザー 12日
10時半~

▽看護婦のためのミサと集い 12日
14時半~ 北白川教会

▽聖ヴィンセントオ・ア・パウロ会 12日
14時半~ 河原町教会

▽あさぎり会(御老人会) 14日
宇治教会 会費五百円

▽オルゴール展示会 17日~18日
北白川教会

▽在世フランシスコ会京都兄弟会例会 18日
南勢ケアハウス

▽親交会例会 19日
高野教会

▽アドウの会「環境問題とライフスタイル」 19日
10時半~ 北白川教会

▽講師・高月紘(京都大学教授)
四十周年堅信式 23日
10時半

▽宇治教会
26日 河原町教会

▽聖ヴィンセントオ・ア・パウロ会
黙想会 30日~12月1日

▽京都JOC(働く人の家)の行事
河原町教会

▽ティーパーティー 25日
20時~

教区スケジユール

11月

5日(日)衣笠墓地・大日山墓地合

同墓参

9日(木)京都教区司祭集会(メリ

ノールハウス)

10~23日みことば書道・絵画展

(西院会館)

11~12日青年リトリート(ウイチ

タ本部修道院)

12日(日)七・五・三祝福

16日(木)司教顧問会(河原町会館)

22日(水)教区内管区長会議(カル

メル)

26日(日)教区一斉京都教区創立記

念ミサ・アジア交流の日

30日(木)司祭評議会(河原町会館)

お
知
ら
せ

聖書使徒職養成コースの案内

▽第106回祈りのコース2

日時・11月10日(金)~12日(日)

場所・唐崎祈りの家

費用・一万七千円 定員・15名

申込締切・10月30日

申込・福音センター
075-822-7123

聖書使徒職委員会より聖書講演会のお知らせ

▽11日13時半~17時

テーマ「使徒聖パウロ」

場所・三重研宗館

▽12日13時半~17時

テーマ「ヨブ記」

場所・河原町会館

各講師・和田幹男師(大阪教区)

各会費・五百円

イトのお知らせ

日時・18日17時~19日16時

場所・ウイチタ・ヨゼフホール

対象・青年男女(18歳以上)

申込・四千五百円

TEL・FAX

0775-261-0461

聖正義と平和京都協議会学習会

テーマ「女性差別撤廃措置から10年目の課題~国連世界女性会議に参加して~」

発題者・小久保晋以子さん(ノーハウス)

指導・Pグリン師

▽バザー 5日10時~

トルダム教育修道会)

▽バザー 18日19時

場所・河原町会館6階

▽初聖体 5日 登美ヶ丘教会

▽ボランティア養成中級講座「カウンセリング2」

毎月曜日10時~12時

講師・広岡洋子

▽韓国語講座毎木曜日10時~12時

▽聖書に学ぶシリーズ第三回

聖書使徒職委員会より聖書講演会のお知らせ

▽11日13時半~17時

テーマ「小さくされた者の側に立つ神」

▽12月2日14時~16時半

講師・シスター小久保

▽ワーキングツップ自己発見

3日~5日 9時~17時

指導・プロードニヤック師、

▽バザー 3日 峰山教会

▽奈良地区の行事

▽奈良カトリック大会

テーマ「震災教区の計画「新生」

から学ぶ

▽教会遠足 3日 御所教会

▽教会巡礼 3日 高田教会

▽浦上切支丹流配者慰靈祭

▽黙想会 4日~5日 高田教会

16日19時半~21時 奈良教会
▽初聖体 26日 奈良教会・郡山教会・高田教会・八木教会

▽滋賀地区の行事

▽バザー 3日 濑田幼稚園

▽びわこウォーカソン 23日

▽バザー 3日 売り立つ神

▽聖書深読默想会 18日18時~19日16時

▽その他の主催・滋賀県連合会

▽聖書深読默想会 18日18時~19日16時

▽電話番号情報コーナー 075-821-0239

▽加入者 776名(9月18日現在)

▽電話番号情報コーナー 075-864-4343

▽加入者 776名(9月18日現在)

▽電話番号情報コーナー 075-971-4343

▽加入者 776名(9月18日現在)

▽電話番号情報コーナー 075-971-4343